

堆肥化プラント リニューアル稼働

弊社の三凌愛川リサイクルセンター第2工場は、食品リサイクル法に対応した堆肥化プラントで、この度老朽化に伴いリニューアル工事を行い6月末より稼働を始めました。

工事は主に発酵ラインの設備をリニューアルしました。最新鋭のスクープ式攪拌機を導入し、コンピュータ制御で自動運転が行えるなど、従来機に比べ効率の良い発酵を行う事ができます。これにより「サンリョウ有機」もより良い肥料にパワーアップできるものと期待しています。

施設見学も受け付けていますので、是非、リニューアルした工場を一度ご覧下さい。



エコ・ファースト制度

京都議定書で定めた環境目標に対して、独自性を持ち先進的な取り組みを行う企業にのみ認定される「エコ・ファースト制度」をご存じだろうか。環境保全に取り組む業界ごと、環境トップランナーを国が認定する制度である。既に国内では、株式会社ビックカメラとユニ株式会社の大手量販店2社が認定を受けており、それぞれが徹底した削減やリサイクルの方法を構築。この取り組みの報告は、環境省にて情報公開される。

認定を受けると、「エコ・ファーストマーク」と呼ばれる、環境トップランナーの証の使用権利を取得。広報や店舗への企業イメージアップに、大きく貢献できるものとなっている。反面、エコファーストの約束に違反した場合は、マークの使用は取り消される。

近年、CSRへの企業の取り組みが高まっていく中、「エコ・ファースト制度」の認定を目指す企業が増えることは、想像に難しくない。消費者のエコ心をつかむには、この様な制度に取り組む、我々企業の取り組みと姿勢にかかっているのかもしれない。



全国一般廃棄物の総排出量

先日、環境省より平成18年度の全国一般廃棄物の数量統計が発表されました。その量5,202万トン、東京ドーム約140杯分になります。1日1人当たりの捨てる量に換算すると、毎日約1kgずつゴミを捨てている計算になる。ということは、1年で1人当たり

約365kg以上捨てていると思うと、その量が多いか、少ないか考えてしまいます。統計を調べていくと近年、一般ゴミの年間廃棄量は約1%ずつ減少している、その内リサイクルされている量は、約6%ずつ増加している傾向にあります。皆様の日々の分別による努力の成果だと、数字が表しています。その中でも、生ゴミのリサイクルが今後どのように進んでいくかが一般ゴミのリサイクル率を増加させるポイントとなります。



COOL BIZでCO2を減らす！？

今年も暑い夏になると気象庁が予想。暑い夏のオフィス環境において、冷房設定28℃というのは、意外と暑く感じます。その環境で、快適に過ごすために生まれたクールビズは、いまやその認知度96%と、ほとんどの方が既知のものとなっています。

クールビズスタイルと呼ばれる、ノーネクタイやノージャケットは、涼しく快適であることに加え、冷房設定28℃のオフィス環境でも快適に過ごすことができ省エネにもつながるため、電気代の削減温暖化効果ガスの二酸化炭素排出量(CO2)を削減することができる「夏の常識」です。この新たな「夏の常識」による相対効果は、平成17年度46万トン、平成18年度114万トンもの、日本における二酸化炭素排出量を削減する結果を出しています。しかし、日本の二酸化炭素総排出量約12億8千万トンからの割合に比べれば、まだまだ微々たるものです。

「COOL BIZ(クールビズ)」の波紋を広げゆく皆様1人1人の取り組みが、日本の温暖化効果ガス6%削減の目標をも達成し、そして世界の環境問題をも解決していく1つの方法だと思えます。



シリーズ三凌の仕事

機密文書の処理

私たちの個人情報等の機密文書の回収は、小口でもお客様のご要望にあわせた回収処理を行い、お預かりした機密文書を万全なセキュリティで回収を実現しています。

「毎日大量に出てくる機密文書を早く処理をしたい」「毎日シュレッダーをするのは大変」「少しの機密文書でも確実に処理したい」というお客様に最適なサービスを提案致します。

機密文書の処理について、お困りになりましたら、弊社営業マンより詳しくご説明いたしますので、是非、ご相談下さい。

TEL 042-726-2647 (担当: 高橋他) E-mail eigyo@tyo-sanryo.co.jp